

## みずほCustomer Desk Report 2023/05/09号(As of 2023/05/08)

## 【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD	公示仲値	135.12
TKY 9:00AM	135.18	1.1018	148.91	1.2633	0.6747		
SYD-NY High	135.30	1.1053	149.25	1.2668	0.6804		
SYD-NY Low	134.65	1.1000	148.46	1.2614	0.6740		
NY 5:00 PM	135.15	1.1005	148.69	1.2618	0.6781		
	終値	(前日比)		終値	(前日比)		
NY DOW	33,618.69	▲ 55.69	日本2年債	▲0.0400%	0.0000%		
NASDAQ	12,256.92	21.50	日本10年債	0.4100%	▲0.0100%		
S&P	4,138.12	1.87	米国2年債	3.9991%	0.0831%		
日経平均	28,949.88	▲ 208.07	米国5年債	3.4870%	0.0783%		
TOPIX	2,071.21	▲ 4.32	米国10年債	3.5063%	0.0721%		
シカゴ日経先物	29,065.00	▲ 50.00	独10年債	2.3155%	0.0225%		
ロンドンFT	-	-	英10年債	-	-		
DAX	15,952.83	▲ 8.19	豪10年債	3.3920%	0.0590%		
ハンセン指数	20,297.03	247.72	USDJPY 1M Vol	10.03%	▲0.10%		
上海総合	3,395.00	60.50	USDJPY 3M Vol	10.94%	▲0.11%		
NY金	2,033.20	8.40	USDJPY 6M Vol	10.79%	▲0.13%		
WTI	73.16	1.82	USDJPY 1M 25RR	▲1.47%	Yen Call Over		
CRB指数	264.00	2.40	EURJPY 3M Vol	10.58%	▲0.04%		
ドルインデックス	101.38	0.16	EURJPY 6M Vol	10.71%	0.00%		

東京	東京時間のドル円は135.18レベルでオープン。堅調な米雇用関連指標結果を受けてドル高が意識されやすい一方、10日に米4月CPI発表を控えていること、米金融引き締め長期化懸念から日本株が下落したこと等から、ドル円は134円台後半まで下落。結局134.71レベルでクローズ。
ロンドン	休場
ニューヨーク	海外市場のドル円は134円台後半でスタート。東京市場が休暇明けで、135.30付近まで上昇する場面も見られたが、米地銀不安や、米債務上限問題などが意識されてか、伸び悩み134円台後半まで売られる。その後米金利上昇に伴い反発し135.20レベルでNYオープン。朝方に発表された米3月卸売在庫(確報値)が予想を下回るも、市場は反応薄。米金利の反落を受け、じり安で推移し安値の134.66まで値を下げる。午後は米第1四半期上級融資担当者調査結果が発表され、融資基準は一段と厳格化したなどのヘッドラインが伝わったものの、結果が予想ほど悪化していなかった事から警戒感が後退し、再び135円台まで値を付ける。終盤は高値圏で小動きとなり、135.15レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.10台前半でスタート。じり安で推移し、一時1.1012まで下落するも、独金利上昇につられ堅調に推移し、1.10台半ばまで上昇する。その後発表されたユーロ圏5月のセンティックス投資家信頼感指数が予想より悪化した内容が嫌気され、売り戻され1.10台前半まで急落する。その後再び1.10台半ば付近まで値を戻すなど、神経質な動きが続き、1.1036レベルでNYオープン。朝方は米金利が続伸する中、じり安で推移。午後も先述の米調査結果を受け、一段と下落し1.10台半ば付近を推移後、1.1005レベルでクローズ。

## 【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
5月8日	23:00	米 卸売在庫(前月比)・確報	3月 0.0%	0.1%
	23:00	米 卸売売上高(前月比)	3月 -2.1%	0.4%

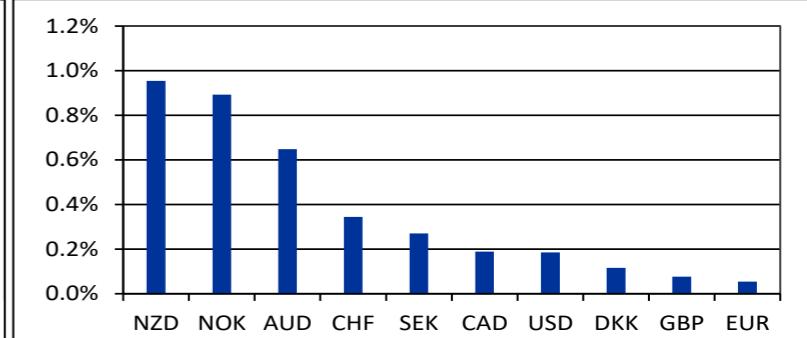
## 【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
-	-	-	-	-

## 【ドル円相場】



## 【対円騰落率(日次)】



## 【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	134.30-135.80	1.0930-1.1080	147.50-149.50

## 【マーケット・インプレッション】

東京時間135.18レベルでオープン。前日の米雇用統計の好結果、米地銀に端を発した金融不安や債務上限問題など材料はあるものの、10日に米4月CPIを控える中いすれも決定打に欠け、135円を挟んだ比較的狭いレンジ内での値動き。結局オープンと同水準の135.09レベルでクローズした。目下の注目イベントである米4月CPIの発表を翌日に控え、本日も身動きの取りづらい状況が継続しそう。堅調な景気動向にやや不透明感が強まっている中国の指標の結果や、米地銀や債務上限問題に関連したヘッドラインには留意しつつも、その他に特段材料のない中、前日と同水準でのレンジ相場を基本線として予想する。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることがあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようにお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 鈴木・逸見